

◎大伴大 7:41:29 ◎風動大 9:54:59

17年間の努力実る 全日本 銅メダリスト

技を決める渡邊(切り込み写真)笑顔で表彰状を持つ左・渡邊、右・中島(スボ1)

渡邊湧斗
(わたなべ ゆうと)
2003年4月2日生まれ。
兵庫県・東洋大姫路高校出身。種目は形。168cm・72kg。社会学部4年。

好演武で会場を席巻



決勝戦の戦績				渡邊の戦績			
名前	得点	形名	試合得点	形名	名前	得点	形名
渡邊湧斗	28.3	アーナン	R 1 19.7	クルンファ	中島凌	27.7	パーン
中島凌	27.7	パーン	R 2 23.3	スパーン	渡邊湧斗	28.3	アーナン

次代担う若手が躍動

「うれしい気持ちと悔しい気持ちの両方がある」。期待の新星・中島が王者の形を披露し、全日本の舞台で準優勝を挙げた。

高校時代には名門の浪速高校で三冠を達成した中島。同志社の門をたたいた後も、その勢いは止まらない。「予選の第2Rで1位を取ってうれしかった。実力者がひしめく中、堂々たる演技で予選を突破。難なく決勝戦まで駒を進めた。命運をかけた大勝負で待ち受けていたのは先輩の渡邊だ。観客からの視線が注がれる試合場でパーンレンを選択し、これまで磨き上げてきた技術を遺憾なく発揮。しかし、渡邊に0.6点差で敗北を喫した。

喜びと悔しさが交錯する試合後、中島は早くも先を見据えていた。次なる目標は、同じ大会で王座に輝くことだ。「後悔しない形を打てるように頑張りたい。大学での空手道はまだ始まったばかり。頂点に君臨するその日まで、己と向き合い理想の演武を追い求める。」

学生最後となる個人戦で、4年生同士が対戦した。2年連続で決勝に進出した渡邊と、昨年度7位入賞を成し遂げた武田。互いに相手の流れにのまれぬように食らいついた。

「勝ちたいという気持ちが強かった」と釜が気迫を全面に押し出して試合をものにした。「絶対につばさちゃん(釜)と戦いたい」と思っていたので、ここで対戦できてうれしかった(武田)。武田は惜しくも敗れたが、最後は笑みを浮かべた。共に歩んできた4年間の集大成が豊の上で実現。互いをたえ合う温かな余韻を残した。

意地でも勝つという気持ちが大きくなった(釜)。11月に行われるインカレ団体戦での活躍に期待がかかる釜と武田。2人の思いは、次の舞台へとつながっていく。



舞台裏の英雄 No.8



笑顔を見せる遠藤

渡邊が全日本個人形で偉大な功績を残した。昨年とおとしは決勝戦に届かず惜しくも敗退。支えてくれた方々に直接、結果を伝えたいという思いで、試合会場である地元姫路市に、両親のみなさんと小学校時代の恩師も駆けつけた。5歳から空手を始めて17年。憧れ続けた日本の座に自身の名前を刻み込んだ。

前回は3位に終わった。返すべく、渡邊の挑戦が始まった。個人形競技は、ROUND探点方式で実施。第1R(4グループ別)では8人中4人が勝ち上がり、第2R(2グループ別)では8人中1人が決勝Rに進む。第1Rで選べるのは全日本空手道連盟指定形の16種類。渡邊は得意とするクルンファを選択した。「指定形はどれか自分のコンディションが悪い状態であっても、同じくきれいな形を打てるように意識して練習を重ねてきた」。約2分と短時間でありながら、洗練された空の戦いが繰り広げられる。足を使った俊敏な動きのリズムと隙間を縫うような繊細な静の動きで構成されるクルンファ。全国から精鋭が集まる中、卓越した集中力で第1Rを1位で通過し、続く第2Rで演じる

歴史を刻む

渡邊が全日本個人形で偉大な功績を残した。昨年とおとしは決勝戦に届かず惜しくも敗退。支えてくれた方々に直接、結果を伝えたいという思いで、試合会場である地元姫路市に、両親のみなさんと小学校時代の恩師も駆けつけた。5歳から空手を始めて17年。憧れ続けた日本の座に自身の名前を刻み込んだ。

前回は3位に終わった。返すべく、渡邊の挑戦が始まった。個人形競技は、ROUND探点方式で実施。第1R(4グループ別)では8人中4人が勝ち上がり、第2R(2グループ別)では8人中1人が決勝Rに進む。第1Rで選べるのは全日本空手道連盟指定形の16種類。渡邊は得意とするクルンファを選択した。「指定形はどれか自分のコンディションが悪い状態であっても、同じくきれいな形を打てるように意識して練習を重ねてきた」。約2分と短時間でありながら、洗練された空の戦いが繰り広げられる。足を使った俊敏な動きのリズムと隙間を縫うような繊細な静の動きで構成されるクルンファ。全国から精鋭が集まる中、卓越した集中力で第1Rを1位で通過し、続く第2Rで演じる

迫真の力

「大きな舞台で同志社花を散らし栄冠を手にした。個の底力を十分に証明した。11月に開かれた団体インカレではチーム一丸となり、全力で走り抜けた。

後輩の中島との戦いで火花を散らし栄冠を手にした。個の底力を十分に証明した。11月に開かれた団体インカレではチーム一丸となり、全力で走り抜けた。

ボート部男子ダブルスカル



橋本健希
(はしもと けんき)
2005年11月16日生まれ。大阪府立宮高高校出身。172cm・68kg。商学部2年。

村崎尊
(むらさき たける)
2003年4月21日生まれ。熊本県立付高高校出身。175cm・72kg。商学部4年。

3年ぶりに栄冠担んだ

アーチェリー部

◆8月19・20日◆第65回関西学生アーチェリーターゲット選手権大会◆於・服部緑地陸上競技場特設レンジ(大阪府)

「仲間の応援が力になった」。健闘を制した茶畑(スボ1)が、関西の頂点に立った。初戦で先輩の奥西(文情2)を退けると、2回戦以降は強豪近大の選手たちを下し決勝の舞台へ。勝負はシュートオフにもつれ込んだ。先攻の林(近大)が9点に的中させたが、茶畑がより中心に近い9点を射抜く。判定勝ちにより優勝を果たした。

「この経験をこれからの大会につなげたい」。精鋭をなぎ倒し王座に就いた新星は、次なる大会へと歩みを進める。

◆茶畑の関西選手権戦績◆

試合	相手	大学名	スコア	結果
1回戦	奥西	同志社	6-0	勝
2回戦	宮田	近大	6-2	勝
3回戦	八幡	近大	6-4	勝
準決勝	橋本	近大	6-5	勝
決勝	林	近大	6-5	勝

ラクロス部男子

◆遠藤樹 審判 AS
(えんどう いつき)
2004年5月12日生まれ。北海道旭川東高校出身。151cm。理工学部3年。

チームの目標である関西制覇を陰で支える人物。審判とアナライジングスタッフ(AS)という裏方の立場から部に貢献する遠藤。どちらの仕事においても心がけていくことは「選手とのコミュニケーション」と語る。

審判としては、公平なジャッジのために選手を分かつために選手を透視しない役割であるため、同志社の優位を確立する大きな力となり得る。目立つことは多くないが「ラクロスが好き」という思いを胸に、チームに欠かせない重要な役割を担う。舞台裏からの確かな力は、同志社ラクロスの未来を切り開くに違いない。彼女の支えが、仲間たちの背中をこれからも絶え間なく押し続けていく。

◆5月11日◆7月6日◆2025年度関西学生ラクロス春季リーグ◆於・甲南大学ホッケーグラウンド

「苦しい試合だったが、最初に取った1点を守り切れた(富田・法4)。2部リーグ首位を懸けた甲南大と、その大一番。堅い守備を見せ、優勝争いに直結する一戦に勝利した。

第1クォーター、激しいボールの奪い合いが繰り広げられた。開始4分、中野・商2が巧妙な駆け引きから先制点を挙げ、その後は甲南大に決定機を許さず、キーパー・塚野(生命)がゴールキーパーとして奮闘。男子ダブルスカルにない一騎打ちが展開され、甲南大の選手がゴールキーパーとして奮闘。男子ダブルスカルにない一騎打ちが展開され、甲南大の選手がゴールキーパーとして奮闘。

同志社スポーツユニオン

体育会51クラブのOB・OGから組織されています

同志社スポーツユニオンは同志社アスリートを支援、応援致します！

<http://www.doshisha-su.com/>

○ウェブサイトを通じて同志社スポーツを応援しましょう！
○新年度 ウェブサポーター 募集中！

お申込み・お問い合わせ
〒610-0394 京田辺市多々羅部1-3
同志社スポーツユニオン事務局
TEL: 0774-65-7418 FAX: 0774-65-7416
E-Mail: jt-sport@mail.doshisha.ac.jp

同志社大学体育会 秋冬オリジナルウェア

New! New!

パーカー ロングスリーブ

Coming Soon!! ※10月販売予定

STAR FORM
06-6167-1037 / 03info@starform.jp

お問い合わせは連絡フォームまで
<http://doshisha-atom.net/promotion>

広告主様募集中!

速報 号外

随時更新中!
同志社の「なう」をつぶやきます!

@atom_doshisha

同志社スポーツアトム

official web site 編集局

ヘッドライン 過去紙面掲載

スマホ対応

ホームページはこちら

ice hockey 「アイスホッケー部」



Luca Redford
(るか・れっどふーど)
2004年11月2日生まれ。カナダ・Saint Thomas More Collegiate 出身。178cm。GEM3年。

※GEM(グローバル教育プログラム)生のため今春だけの留学!

国境越えて輝く

2歳の頃からスケートを始め、4歳からアイスホッケーに打ち込んできたカナダ出身のレッドフォード。来日を決意した背景には、日本文化や歴史への深い愛着がある。中でも「同志社の美しいキャンパスと京都という街、そしてアイスホッケー部の存在に強く引かれた」と話す。

「全力で取り組む姿に刺激を受けるし、みんな情熱的で大好き」。チームメイトとバーベキューをしたことや、互いの文化について語り合ったことも良い思い出。言語の壁はあったが、英語が話せる部員の存在や仲間の努力もあり、有意義な日々を過ごした。

「自分の強みはシュート力とフィジカル、そして視野の広さ」。春季リーグ戦や練習試合に

も参加し、6月に行われた関西学生選手権大会の対立命大戦では、激戦の中で勝利に大きく貢献するゴールを決めた。

競技に力を入れる一方で新しい環境での生活にもなじみ、つけ麺をはじめとする食や歴史を楽しんだ。寺や神社にも訪れ、日本人の礼儀正しさと秩序に魅力を感じている。強豪国であるカナダに帰国後も、アイスホッケーを続けるレッドフォード。異国で積み重ねた経験を糧にし、さらなる飛躍を目指す。

母国の良いところ「自然」
一番恋しいのは自然です。山や釣りが好きです。

日本 で 挑 戦 す

新境地で闘う熱い漢

「留学を決めた時は関西ではなく、むしろ関東に興味があった。同志社入学を決めた理由はグローバルコミュニケーション学部で、英語と韓国語を学ぶことができ、社会を客観的に学ぶことができる。学部での学びを土台に国際的な視野を広げながら、日本の自然や習慣に親しんだ。」

高校時代、韓国には本格的なクラブ活動がなく、フィットネスジムに通い肉体を強化。初めて体操競技部を見学した際、スポーツに対して一生懸命な先輩たちの姿に感動を受けた。自分も挑戦したいという気持ちが芽生え、入部を決断。体操競技では一つの技を成功させるために必要な採点規則を調べ、筋力を鍛えなければならぬ。また記録した映像やアドバイスをもとに自分の姿勢や動作を客



好きな母国料理「サムギョプサル」「チキン」
地元の友達と会う時には必ず食べに行きます。

체조

「体操競技部」

權成景
(こん・そんぎょん)
2001年7月23日生まれ。韓国・国立釜山海事高校出身。165cm・63kg。グローバルコミュニケーション学部3年。

Zēng Tiān Shùn
(そ・てんしゅん)

2004年8月17日生まれ。中国・甘肅外語外語中出身。ポジションはファースト。180cm・70kg。社会学部3年。

好きな母国料理「小籠包」
上海出身なので小籠包と、ゆでたザリガニが好きです。ニンニクや調味料で味付けしたらおいしいです。

海を渡った

野球一筋の努力家



中学時代から日本語に興味を持っていた。その関心は薄れることなく、社会学部への進学を決めた。大学2年時の春、軟式野球部の新入部員歓迎会で憧れていた部活動を経験。少年期から継続していた野球の世界に、1年ぶりに身を投じた。入部後に行われた長野県での合宿は、部員として活動する中で最も楽しかった。と回想する。現在はファーストをポジションとしているが、ピッチャーとしてマウンドに立つことが目標だ。

出身地は中国の上海。下宿先でも中華料理屋には頻りに足を運び、故郷の味に憧れ、懐かしさをかみ締めている。今でも祖国への愛は薄れていない。

軟式棒球

「軟式野球部」

特集

はるばる海を渡る。日本で競技に打ち込む留学生たちがいる。本号では韓国、中国、カナダから同志社に来た4人の体育生を紹介する。異国の地でスポーツに情熱を注ぐ彼らの思いとは。

스피드스케이팅 「スピードスケート部」



中学3年時から高校卒業まで、海外で活躍し、スポーツを学問として深めたいという想いからスポーツ健康科学部へ進学した。

ショートトラックを始めたきっかけは母からの勧め。「小さな頃から氷の上を滑る感覚が楽しくて、夢中で練習していた」。しかし、中高では環境の制約もありサッカーへ転向。それでもスケートへの情熱が常に心の片隅にあり、同志社にスピードスケート部があることを知ると再び挑戦を決意した。

普段の活動は氷上での基礎固めだけでなく、筋力向上を目的とした陸上トレーニングも実施。本格的かつ、おのの目標に向けて自分のペースで取り組めるところが魅力だ。基本的には個人競技であるが、時にはライバルと

して競い合うことができる点に部活ならではの楽しさを感じている。

母国である韓国の長さは「人との距離の近さと情の深さ」。合宿や自主練習などで一時帰国すると、コーチたちが親しみを込めて熱心に指導を施してくれる。また、羅のお気に入りの郷土料理はサムゲタン。「夏に食べると体力が回復でき、疲れた時や落ち込んでいる時に無性に食べたくなる」と語った。

「日本は街が清潔でマナーも良く、安心して生活を送れる。特に京都は、歴史や自然の調和を日常的に感じられる場所」。日本の大学生が文武両道を重んじる姿勢が新鮮で、より一層闘志をかき立てられた。競技を通して、技術と精神力を磨き続ける羅。勉強も部活も努力を惜しまない彼のこれからの飛躍に刮目(かつめく)せよ。

好きな母国料理「サムゲタン」
特に夏に食べると体力回復にもなります。疲れて元気が出ない時に、食べたくなります。

氷上で光る努力の結晶

レオナート 矢部 彩香

サッカー部女子



ポーズを決める選手たち

楽しむ心が原動力

- 9:00 集合
- 9:05 アップ
- 9:15 パス練習
- 9:30 鳥かご (小)
- 9:45 鳥かご (大)
- 10:00 ゲーム練習
- 10:30 終了後自主練習



TIKTok 撮影

春季リーグ戦では2部4位で終了したサッカー部女子。選手が実践する練習の多くは、競技経験の差にかかわらず、全員が成長できるメニューだ。アップ後に行う、円形になりパスを回す「鳥かご」がそれを象徴する。ディフェンスの技術向上に効果的でかつ、未経験者でも気がねなく打ち込めることが特徴だ。楽しいことは大前提(佐生・経4)。学生コーチを務める佐生は、「笑顔が絶えない雰囲気づくりを意識している」と語った。また、コーチ陣は特殊なスキルではなく基礎を固めることを優先。中でも、守備力を高めることを重視している。

春季リーグ戦では2部4位で終了したサッカー部女子。選手が実践する練習の多くは、競技経験の差にかかわらず、全員が成長できるメニューだ。アップ後に行う、円形になりパスを回す「鳥かご」がそれを象徴する。ディフェンスの技術向上に効果的でかつ、未経験者でも気がねなく打ち込めることが特徴だ。楽しいことは大前提(佐生・経4)。学生コーチを務める佐生は、「笑顔が絶えない雰囲気づくりを意識している」と語った。また、コーチ陣は特殊なスキルではなく基礎を固めることを優先。中でも、守備力を高めることを重視している。

アメリカンフットボール部



走る岡田 (法2)

練習潜入

今回はアトム部員が練習に潜入し、その内部に迫った。日々、勝利を目指して汗を流す選手たち。苦楽を共にしてきた仲間たちとの1日について紹介する。



©同志社大学京田辺キャンパス

- 10:00 ウェイトトレーニング
- 11:00 DF: 昼食
- 12:00 OF: 昼食
- 13:00 ミーティング
- 16:00 実戦練習
- 18:00 練習終了

昨年1部復帰を成し遂げ、秋季リーグ戦に挑んでいるアメリカンフットボール部。主将・竹島(政経4)を中心に日本一を目指す熱き選手たちを追った。朝はウェイトトレーニングからスタートし、ディフェンスとオフェンスに分かれて汗を流す。フィールドで力を発揮するためには、下半身に力をつけていく(龍本・法3)。強豪に打ち勝つために、年間の半分を費やす徹底ぶりだ。運動後のリハビリとして栄養補給も欠かせない。「ご飯は600g以上(伊達・経4)。食生活でも万全のサポートを受け

厳しい鍛錬で得た屈強な体だけでなく、緻密な戦術も栄光への鍵となる。勝利をつかむために、裏方も含めて全力を尽くす。総力戦で挑むチームスタイルが、強さの秘訣(ひつた)。

レスリング部



組み合う池口 (スポ2)

独自の練習法光る

レスリング部のトレーニングは、30分間のアップから始まる。個人ではなく全体で取り組む。しつぱ取りや鬼ごっこといった遊び感覚の動きを導く。楽しみながら身体をほぐす。そして、同じ技をひたすら繰り返す「打ち込み」と呼ばれるメニューを4セット実施。部員を変えながら、何れも反復して自らの体に染み込ませる。その後は試合を想定したグラウンド練習に移り、実践に近い状況での動きや身構えを確認。また、減量者がいれば全員でサーキットトレーニングも行う。脂肪燃焼効果がある腕立て伏せや体

レスリング部のトレーニングは、30分間のアップから始まる。個人ではなく全体で取り組む。しつぱ取りや鬼ごっこといった遊び感覚の動きを導く。楽しみながら身体をほぐす。そして、同じ技をひたすら繰り返す「打ち込み」と呼ばれるメニューを4セット実施。部員を変えながら、何れも反復して自らの体に染み込ませる。その後は試合を想定したグラウンド練習に移り、実践に近い状況での動きや身構えを確認。また、減量者がいれば全員でサーキットトレーニングも行う。脂肪燃焼効果がある腕立て伏せや体

- 10:00 アップ
- 10:30 打ち込み
- 10:50 グラウンド練習
- 11:20 サーキットトレーニング
- 11:30 練習終了

バレーボール部男子

1部リーグに所属するバレーボール部男子。体育館にはチーム全員の声が響き渡り、選手たちは互いに名前を呼び合いながら自ら雰囲気をつくり出す。「まずは自分が声を出して、いろいろな人が乗ってこれるようにしている(森川祐・商4)と、主将を筆頭とする盛り上げ役を中心にコートは活気に満ちあふれている。今年の春季リーグ戦の結果は8位。悔いの残るシーズンとなり、バックアタックや守備の甘さが課題として浮き彫りになった。「フォームまで細かく丁寧に意識している(中田・心理2)。一人一人が改善点に真摯(しんし)に向き合い、地道な

努力を積み重ねている。アップには遊びの要素を取り入れた「ツーボール」を採用。2球を同時に扱うことで反射神経や判断力の向上につなげており、基礎力の強化を促す。さらにレシーブ練習では他校には見られない希少なプロ仕様のマシンを使用。創意工夫を凝らしている。「1人でチームをつくるのではなく、下級生の声を聞いてチームをつくることを意識している(森川祐)。部員たちは仲間の意見に耳を傾け、信頼関係を築きながら一体感の醸成に取り組む。総合力を底上げし、秋季リーグ戦でリベンジを果たせ。



構える伊藤 (心理3)

一体感武器に

陸上ホッケー部女子



シュートを狙う佐伯 (スポ4)

経信じて再挑戦する

光り輝く青芝の上で和気あいあいと練習に励む陸上ホッケー部女子。経験者が中心となり、メニューや毎日の目標を考え、先陣を切ってチームを引っ張っている。「初心者が多いのでできたことはしっかり褒めて、良い雰囲気をつくるように意識している(清水・商3)。和やかな空気の中で、各自が研ぎ澄まされた集中力を見せていた。春季は1部との入れ替え戦まで駒を進めたが、惜しくも敗退。2部残留を余儀なくされ、涙をのんだ。最後まで決め切る得点力が足りていない(佐伯)。シュートの決定力を課題に挙げ、徹底的にゴール前の精度向上を図る。少人数であるからこそ、個人の技術力が試されるため基礎練習は欠かせない。パスやドリブルの正確さを巧みなスティックさばきで追求する。ゲームを意識した対人形式の練習では、熱気あふれるルーズボールの場面からスタート。コート内で連携を取りながら、最後までボールを追いかけ激しくぶつかり合う。何度も繰り返して洗練された技術は、勝敗を左右する大きな武器になる(佐伯)。

今年も2部優勝と1部昇格を目標に掲げた。共に闘う最高の仲間と、もう一度入れ替え戦の舞台に駆け上がる。

- 9:00 アップ
- 9:10 ランニング
- 9:20 パス練習
- 9:40 ドリブル練習
- 10:00 四角パス
- 10:20 シュート練習
- 11:00 ゲーム練習
- 12:00 練習終了

アトム部員が体験してみた



選手たちの声かけが多くて、とても活気のある練習だと思いました。オンオフの切り替えもきちんとしていて強い理由が分かりました!

選手もスタッフも全員が妥協せずに高みを目指す姿に圧倒されました。また、チームの熱量を肌で感じ、日本一に挑む強い覚悟を実感しました。

精度の高い練習についていくのが精一杯でしたが、楽しさを重視したスタイルでプレーできました!

アップから笑顔あふれる選手の姿が印象的でした!グラウンド練習は試合さながらの緊張感があり迫力満点!!

ボールをうまく扱うことが難しく、選手の方々は本当にすごいと思いました。練習の雰囲気がとても良く、仲の良さが伝わってきました!

早く取材に当たっていただきありがとうございます!(アトム部員一同)

A large, vibrant photograph of a male boxer in a purple singlet and blue gloves, looking intensely at the camera. Behind him, a crowd of supporters, many wearing purple shirts, are cheering and raising their hands. The background is a fiery, abstract pattern. Large, stylized Japanese text is overlaid on the image.

全員で手繰り寄せた王者の称号

同志社アトム

闘魂燃え尽きぬ

2年ぶり3度目の頂点に君臨した
ボクシング部

◆5月11日7月6日◆2025年度78回関西学生ボクシングリーグ戦◆於・龍谷大学深草キャンパス(京都府)他◆歓喜と悔しさの錯綜した優勝だった。事実上の決勝戦とも言われる一戦で大逆に惜しくも敗北を喫した同志社連勝と大商大の敗北によりついに3度目の関西優勝を果たした。最後まで頂点に立つことを諦めず、真摯(しんし)に戦い続け、とが劇的なドラマを生み出し、今後も真価を発揮し、さらなる飛躍を誓う。

大勢の観衆に見守られながら真紅にきらめく優勝旗が森島(もりじま) 慎(しん)4(よ)の手に渡された。昨年は惜しくも本意(ほんい)な順位に終わるリーグ戦。屈辱(くじく)を糧(かて)に鍛錬(たんれん)を積み続け、2年ぶり3度目の栄冠(えいかん)をつかみ取った。

しかし優勝後、主将・森島(もりじま) 慎(しん)4(よ)「ただ単にうれしいうるやうに少し悔しい気持ちがあった。後悔(こうかい)の念を吐露(とろ)」。その背景には

 **定廣征季** 

(さだひろ・もとき)
2004年4月23日生まれ。京都廣学館高校出身。階級はミニマム級。165^{センチ}・51^{キログラム}。
スポーツ健康科学部3年。

構える定廣
【切り込み写真】
歓声を上げる部員たち

78日(7月6日)2025年度第
回関西大学学生ボクシングリ
グ戦(於・龍谷大学深草キャンパス
(京都府)他)歓喜と悔しさが交
錯した優勝だった。事実上の頂
上決戦と言われた一戦で大商大
に惜しくも敗北を喫した同志社
一度は悲嘆に暮れたが、後半戦の
連勝と大商大の敗北により2年
ぶり3度目の関西優勝を果たす
、真実(しんじ)に戦い続けたこ
とが、奇跡的なドラマを生み出し
、今後も真価を発揮し、さらなる
飛躍を誓ふ。

栄冠の裏

大勢の観衆に見守られながら、
真紅に手を渡された森島(文)
情4の手に渡された。昨年は4
位と不本意な順位に終わったリ
ング戦、屈辱を糧に鍛錬を積
み続け、2年ぶり3度目の栄光
をつかみ取った。

しかし優勝後、主将・森島は
「ただ単にうれし」と言うより、
少し悔しい気持ちがあった」と後
海の念を吐露。その背景には大

二マム級の定廣「自分のしたい動きがでなかった」と序盤は苦戦を強いられる。しかし徐々にペースを取り戻すと、鋭いジャブを軸に圧力をかけ続け判定勝利、エースの重責を果たし、堂々の先勝を飾った。

続いてリングに上がったのはバンタム級の川島(商一)。開始から打撃戦を仕掛け、ボディブローで主導権を掌握する。圧力のあるボクシングを見せ、判定3-0の完全勝利を達成。フェザー級の川畑(法一)はリング戦初出場で大健闘を見せたが、惜しくも敗北を喫った。

2122の同点で迎えたライト級の細川(スボ4)は、ゴング直直後から冷静な試合を展開。両者一歩も譲らぬ激闘の末、3-0-2の判定勝ちを収めた。3122とリードし流れが傾いたと思われただけ、ここから大商大の猛攻を受ける。重量級に有力選手を擁する同社志は、ライトウェルター級で山口(法4)とウェルター級で森島(起用一)までやってきたこの結果を出すこ

原(かけた第9戦、ミドル級の
「理理工」)が登場。強敵相手
奮闘も、有効打を奪えず、試
終了のゴングが鳴り響く。判
で大商大に軍配が上がり、4
5で同志社の敗北が確定。こ
負けは全員の責任(川島)。選
たちの目から、大粒の涙がこぼ
落ちた。

「優勝を諦める気持ちはない
(森島)と気持ちは入れ替へ、挑
だ後半戦。芦屋大と立命大にに
勝を収め、4勝1敗でリーグ優
を戦い抜いた。ここで、優勝候
の大商大が関学大に敗れる波
の展開に。両校勝率が並び、R
C勝利の数が上回った同志社
勝利の女神がほつて笑んだ。

一度は遠のいた優勝への道
わすれかね、可能性を信じて戦い
けたことが、関西優勝への架け
となった。たぐさんの人の支
があつてここまで来ることが
きた(定廣)。熾烈(しれつ)な
を制した戦士たちの笑顔が
まぶしく輝いた。【三宅希和

今季のリーグ戦では、3選手が階級賞に選出された。バンタム級では川島、ライト級では細川が健闘を見せ、個人賞を獲得。さらにミニマム級の定廣が個人賞と最優秀選手賞のW受賞を成し遂げた。

バンタム級の川島は1年生ながら全戦全勝を達成（4年連続で階級

賞を取りたい）(川島)と意志をたがらせた。細川は4年目にして初の個人賞を受賞。最後のリーグ戦を華やかに飾った。定廣は昨年、けがによる戦線離脱を経験。「休みの期間、家での自主トレーニングや日曜日も休まずに練習して」(定廣)。リッパへの再帰練習で自身を追い込

◆ 5月11



2年ぶりの王座奪還を目指す同志社の前に立ちはだかっていたのは、昨年の関西王者・大商大だった。この日はフライング級の坂本法三が不戦敗となり、先陣を切ったのは三

とができなかった(森島。相手が猛ラッシュに屈し、2戦連で白星を逃した。)

痛恨の連敗でリングサイドに暗雲が立ち込める中、ライトドル級の和田(商4)が驚異の勢いを展る。強打で相手の反撃の芽を見せる、2R(ラウンド)秒でレフリーストップコンテント(RSC)勝ちを取めた。王

見事な戦績を残した。
 のおのが実力を余すことなく発
 手にした栄誉。積み上げた練
 成果が
 なり、
 を放つ
 ズンと
 した



笑顔を肩掛けた選手たち

大

つ場な 1る。ン

同志社から一番近い 京田辺校地 教習所です！

※昭文社京都府地図より

オンライン学科実施中!!

自宅でスマートフォンで
受講できます

山城田辺自動車学校

〒610-0322京都府京田辺市普賢寺中島4-9

TEL 0774-63-6600




定期購読受付中!!




お申込みはこちらから▶▶
<https://doshisha-atom.net/subscribe/>

年間購読料 ￥2,000

 年6回発行！
 ご自宅まで配送いたします！



レイアウト 三宅 希聖




定期購読受付中!!




お申込みはこちらから▶▶
<https://doshisha-atom.net/subscribe/>

年間購読料 ￥2,000

 年6回発行！
 ご自宅まで配送いたします！

